

項 目			H26目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会		
大	中	小		H26実績	達成度	達成度	評価の視点と指導、助言等	
2	事業規模・ 形態の見直し	1 運営形態	全部適用を当面維持		継続実施	○	○	
		2 事業規模	① 一般病床175床 ② 緩和ケア病床24床		継続実施	○	○	地域医療構想という国の問題もあるが、現状の病床数を維持できるよう望む。
3	経営改善に 係る計画	1 財務に係る 数値目標	(ア) 経常収支比率	96.1%	93.5%(前年度 93.9%)	×	×	
			(イ) 職員給与費比率	63.9%	65.7%(前年度 62.9%)	×	×	
			(ウ) 病床稼働率(一般)	88.6%	86.2%(前年度 85.2%)	×	×	地域性的問題もあるが、最終目標である95%に稼働率を上げるために今後も新患獲得など戦略的な取組、工夫を行うこと。
				病床稼働率(緩和)	80.0%	76.3%(前年度 75.8%)	×	
			(エ) 診療単価(入院・一般)	43,830 円	43,514円(前年度 42,706円)	×	×	
			診療単価(入院・緩和)	45,000 円	52,699円(前年度 48,509円)	○	○	
			診療単価(外来)	11,984 円	11,883円(前年度 11,456円)	×	×	
4	収入増加・ 確保対策	1 診療機能	ア 救急医療の拡充					
			①内科二次救急の継続		継続実施	○	○	
			②消化管出血等に対応できる消化器内視鏡救急外来の拡充		継続実施	○	○	
			③外科(外科・整形外科)救急外来の拡充		継続実施	○	○	
			④小児科二次救急の継続		継続実施	○	○	
			⑤総合診療医の育成		-	-	-	
			イ がん対策の強化					
			①がん検診・人間ドックの充実		休日がん検診開催(平成26年9月23日、平成27年2月15日)、DEXA検査のオプション追加に向けて協議中	○	○	
			②がん予防診療		継続実施	○	○	
			③低侵襲手術の拡充		H26.4月に腹腔鏡技術認定医の資格を持つ外科医師を1名採用	○	○	特徴ある医師が確保されて今後の手術件数増加を期待する。
④外来・入院化学療法		継続実施	○	○				

項 目			H26目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会				
大	中	小		H26実績	達成度	達成度	評価の視点と指導、助言等			
4	収入増加・ 確保対策	1	診療機能	⑤がん緩和ケア	医師2名退職 緩和ケア認定看護師2名確保 緩和薬物療法認定薬剤師の資格取得者1名増、計2名	○	○	マンパワーの低下はあったが、今後も緩和ケアは継続して頂きたい。次年度以降は日本緩和医療学会認定研修施設を目指して取り組んで頂きたい。		
				⑥がんに関する知識の啓発	がんフォーラム開催(平成26年9月6日) まちかど「がん相談室」in大阪へ参加(平成27年2月11日)	○	○			
				⑦院内がん登録の継続実施	継続実施	○	○			
				ウ	生活習慣病対策の拡充					
				①糖尿病対策	糖尿病教室を院外で開催(啓発活動の実施)	○	○			
				②糖尿病合併症の早期発見・診断・治療	継続実施	○	○			
				③循環器疾患の診断・治療	継続実施	○	○			
				④脂質異常症の診断・治療	継続実施	○	○			
				エ	循環器疾患への対応					
				①循環器疾患の診断・治療	継続実施	○	○			
				②心臓カテーテル検査と経皮的冠動脈形成術	血管造影検査装置の更新、人員体制整備次第可能	×	×			
				③下肢動脈末梢血管造影と下肢動脈形成術	血管造影検査装置の更新、人員体制整備次第可能	×	×			
				④徐脈性不整脈に対する検査・治療	継続実施	○	○			
				オ	呼吸器疾患への対応					
				①睡眠時無呼吸症候群(SAS)の診断・治療	1泊入院による検査開始(H26.4月～)	○	○			
				②慢性閉塞性肺疾患(COPD)の診断・治療	H26.4月より呼吸器内科外来開始。常勤医師1名、非常勤医師1名確保	○	○			
				③誤嚥性肺炎の予防	継続実施	○	○			
				④新型インフルエンザ対策	継続実施	○	○			
				カ	骨・運動器疾患の対応 拡充					
				①骨粗鬆症の予防・診断・治療	H26.10月に骨密度測定装置(DEXA)導入 H26.12月医師会向け骨粗鬆症講演会の実施	○	○			

項 目			H26目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会			
大	中	小		H26実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等		
4	収入増加・ 確保対策	1	診療機能	②関節疾患の診断・治療	継続実施	○	○		
				③外傷・骨折の診断・治療	継続実施	○	○		
				④運動器リハビリテーションの拡充	継続実施	○	○		
				⑤循環器・呼吸器・嚥下障害・脳血管リハビリテーション	H26.2月に西宮脳卒中地域連携パスへ参加し、急性期治療後のリハビリ受入れを実施	○	○		
				キ 産婦人科医療の拡充					
				①周産期医療の構築	周産期ネットワークの継続実施	○	○		
				②婦人科腫瘍の診断・治療	平成26年11月に腹腔鏡技術認定医の資格を持つ医師を1名採用	○	○	特徴ある医師が確保されて今後の手術件数増加を期待する。	
				③泌尿婦人科疾患の診断・治療	継続実施	○	○		
				④更年期婦人疾患の診断・治療	継続実施	○	○		
				ク 小児科医療の充実					
				①地域小児科医療の支援	平成26年4月に医師1名採用、常勤2名体制となる	○	○		
				②予防接種の推進	継続実施	○	○		
				③特色ある診療の実施	リハビリテーション科との連携による学習支援外来の開設を実施	○	○		
				ケ 眼科医療の充実					
				①眼科疾患の診断・治療	外来二診体制の実施	○	○		
				②眼科疾患の入院手術の推進	両眼手術の推進	○	○		
				コ 皮膚科・形成外科の拡充					
				①診断・治療目的の手術の推進	継続実施(形成外科は平成24年7月より開設)	○	○		
				サ 初期臨床研修医・後期研修医の確保					
				①初期臨床研修プログラムの充実	継続実施(初期4名・後期2名)	○	○		
②大学との襍掛け研修の実施	継続実施(兵庫医科大学病院)	○	○						

市立芦屋病院中期経営計画評価調書

達成度【計画以上=◎, 計画通り=○, 計画未滿=×】

項 目			H26目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会		
大	中	小		H26実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等	
4	収入増加・ 確保対策	1	診療機能	③後期研修プログラムの充実	継続実施	○	○	
		2	ネットワーク 医療について	県立西宮病院、市立西宮中央病院との連携強化	継続実施	○	○	
				むこねっとシステムの活用による阪神7市医師会との連携強化	平成26年10月より二次救急システム、平成27年2月より患者情報共有システムの運用開始	○	○	
6	経費削減・ 抑制対策	1	職員給与費の適正化	① 医師職年俸制の導入 ② 業績評価制度の継続	①医師職を対象とした個人評価の実施を平成27年度に予定 ②継続実施	○	○	
		2	業務委託、 人材派遣、 非正規雇用	① 指揮命令系統の整備 ② パートナーシップの醸成 ③ 社会経済情勢への配慮	継続実施	○	○	
		3	診療材料及び薬品における物流一元化	① 物流一元化 ② ジェネリック医薬品への切り替え ③ 持参薬の活用	①継続実施 ②8品目をジェネリック医薬品へと切り替えた。(現在151品目切り替え済) ③継続実施	○	○	ジェネリック医薬品については当面60%のシェアを目指して進めて頂きたい。
		4	効率的な業務プロセス	① DPC分析ツールの活用によるベンチマーク ② ドクタークラークの活用	①医局会や各科カンファレンス等で分析資料を活用 ②継続実施	○	○	今後もDPC分析ツールを活用し、経営分析に取り組んで頂きたい。また、全職員を対象としたDPC研修会の開催に努められたい。
7	PDCAサイクルの構築		評価委員会の指導、勧告に基づき進める	毎日行われる幹部会での意思決定の迅速化と毎週実施される企画会議で全体周知を行い、組織的な進行管理を実施	○	○		
8	その他		病院機能評価受審	平成27年3月に受審(平成27年6月に3rdG: Ver1.0認定更新)	○	○	引き続き安全で質の高い医療提供に努められたい。	